

宮本公民館「コンボラス」 三百人劇場を支え13年



④代表の藤田葉子さん（左から2番目）とメンバー ⑤公演当日、受付するスタッフ

イベント企画、もぎり、片付けなど尽力

船橋市の宮本公民館に定員300人のホール「みやもと三百人劇場」がある。ここで13年前から公演を陰で支えているのがコンサートボランティアスタッフ、通称「コン・ボラス」だ。現在、メンバーは11人もぎりや片付けから企画、運営までを行っている。

同劇場は1988年に開館。コンサートや講座など、さまざま催しが開かれてきた。元々は公民館職員だけで企画運営を行っていたが、職員の人数が減り、思うような対応ができなくなった。そこで、ボランティアスタッフを募集し、受付や後片付けなどを手伝ってもらうように

なった。

「最初はお手伝いだったが、それ以上のこともしてみたいと思うようになった」とコンボラス代表の藤田葉子さん(88)。現在はコンサートの企画から運営まで携わっている。

音楽好きのメンバーも多く、「こんなことをやったらどう」「こうい

う人に演奏に来てもらいたい」など、常にホールが満席になるよう企画を考えている。コンサートは年に7、8回ほど。「内容が被らないように」気を配ったり、幅広い年齢層に楽しんでもらおうと、親子向けの公演も企画している。

「ここで演奏した地元出身の奏者が活躍し、再

び戻ってきてくれることがうれしい」とやりがいをもつ。また、メンバーにとっては、より近くで演奏を聴くことができるのもコンボラスの魅力だという。

次回は今月17日の「ガーシュウインの名曲をあなたに」。14時から開催予定。申込は☎(424)9840宮本公民館